



奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科  
野田 優希

第4回の奈良学園大学登美ヶ丘カレッジは、「スポーツ現場で役立つテーピング」として、関節のサポートやケガの予防に使えるテーピングを練習したいと思います。

テーピングは、難しいというイメージがあるかもしれませんが基本的な技術と考え方を学ぶことで色々な部位に応用ができます。基本を学んだら、あとは練習をすればするほど上達します。この機会に、部活動で使えるテーピング技術を学びませんか。



開催予定

日時：令和3年10月16日(土) 14:00~15:00  
会場：奈良学園大学(登美ヶ丘キャンパス)  
1号館1階 運動療法実習室

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されている日程・開催時間等が変更となる場合がございます。最新情報は随時ホームページで更新いたしますのでご確認ください。

ニューズレター第2号 編集後記ご挨拶

第2号発刊にあたり、地域の施設・学校関係の皆様改めて感謝申し上げます。厳しさを増すコロナ禍の中、感染症予防対策の一層の徹底を図りながらの「奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ」を第3回まで実施することができました。その参加者の中には、35年にわたってこの登美ヶ丘地域を見守り育てて来られた方々の熱い想いや使命感さえ感じさせて頂きました。景観・文化・施設のさらなる発展をあらゆる世代と未来を担う子どもから高校生の皆様と共に育てて行くことができる地域貢献に一層努めて参ります。今後とも、ご意見やお知恵、情報等を寄せて頂ければ幸いです。



奈良学園大学 社会・国際連携センター長  
善野 八千子

第2回・第3回 奈良学園大学登美ヶ丘カレッジ開催

7月3日(土)は、保健医療学部の堀内美由紀教授が講師を務め「多様な社会における地域防災」をテーマに公開講座を、8月22日(日)は人間教育学部の青山雅哉教授が講師を務め「室内楽の調べ」をテーマに、様々なアンサンブルによる音楽の演奏会という形式で奈良学園大学登美ヶ丘カレッジを開催しました。



第2回登美ヶ丘カレッジでは、奈良県の高齢化と在留外国人数や労働人口の推移、奈良県の災害の歴史やハザードを参加者と共に確認し、ダイバーシティ&イノベーション促進の意義について説明されました。地域で防災活動に関わる参加者が多く、最後に紹介したこれまでに取り組んだ地域防災イベントに関心を集めました。

災害に強い地域づくりには、知識の他に災害に対する意識や認識の共有が重要です。本学の地域連携のひとつとして、地域防災に関わる企画運営にどのように関わることができるか地域住民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

第3回目の奈良学園大学登美ヶ丘カレッジでは、前半は、ソロや連弾によるピアノ演奏やチェロ・ヴァイオリン奏者によるピアノ奏者との共演で、クラシック音楽だけでなく「ロンドンデリー」「夏は来ぬ」「我は海の子」など幅広く音楽に親しむことのできるプログラムにより演奏され、後半は、奈良県立登美ヶ丘高校・奈良県立国際高校の吹奏楽クラブのゲスト出演によるアンサンブル演奏で「崖の上のポニョ」をはじめ楽しい曲が披露されました。

参加者の方々からは、この不安なコロナ禍の日常において、とても心安らぐ時が持てたとの感想を聞くことができました。



奈良学園大学周辺施設の紹介  
学研奈良登美ヶ丘郵便局

近隣の郵便局「学研奈良登美ヶ丘郵便局」を紹介いたします。ご原稿は、学研奈良登美ヶ丘郵便局長 山本玲子様より頂きました。



郵便局長 山本さん

学研奈良登美ヶ丘郵便局は、奈良県で19年ぶりの新局として2018年1月29日に開局しました。郵便・貯金・保険業務などを行っており、ゆうちょ銀行のATMは2台設置しております。ゆうちょ銀行ATMは、平日8時から20時まで、土曜日は9時から19時まで、日祝日は9時から18時まで営業しておりますので、地域のお客さまに大変便利と喜んでいただいております。

切手・はがきなどの販売や、郵便物・ゆうパックなどの引き受けは平日の9時から17時まで、貯金や払い込み、保険の手続きなどは平日の9時から16時まで承っております。

今年2021年4月20日に日本郵政グループは郵政創業150年を迎えました。お客さまへの感謝を込めて、イベントの開催なども行っておりますので、詳しくは郵便局の窓口でお尋ねください。郵便局では、すべてのお客さまが安心してご利用いただける様々なサービス、商品をご案内しております。

ぜひ、学研奈良登美ヶ丘郵便局にいらしてください。社員一同、お越しをお待ちしております。



## 奈良学園大学ニューズレター第2号にあたってのご挨拶



奈良学園大学 副学長 金山 憲正

奈良学園大学には「人間教育学部」と「保健医療学部」の2つの学部があります。

「人間教育学部」では約600名の学生がそれぞれ幼・小・中・高・特別支援学校の教員免許や保育士・学校図書館司書教諭の資格の取得と教育現場での実践力を身につけることをめざしています。「保健医療学部」の「看護学科」約320名の学生はそれぞれ看護師・保健師・助産師の国家資格及び養護教諭・衛生管理者の免許や資格などを取得して温かい心を持つ看護のプロになることをめざしています。「リハビリテーション学科」約320名の学生は理学療法士・作業療法士いずれかの国家資格を取得し、医療ケア・介護ケアの現場で活躍できる心豊かな一流のセラピストをめざしています。

奈良学園大学は「人を支える人を育てる」ことをモットーに、地域社会及び社会全体の発達・発展に貢献できる人材育成に努めてまいります。

まだまだ歴史の浅い大学ではありますが温かいご支援を頂ければ幸いです。

## 奈良学園大学の教員紹介

奈良学園大学 人間教育学部 人間教育学科

オチャンテ・カルロス 先生



私は外国語教育と異文化教育を専門としています。また、これまでスペイン語、ポルトガル語や英語を使ってたくさんの外国の方と仕事をしてきました。大学では外国語の理解を深める授業や異文化の理解を目指す授業などを担当しています。これまでICT教育を自分の授業で積極的に取り組んでいます。現在、ICTを活用したアクティブラーニング型授業を目指しています。

奈良学園大学 保健医療学部 看護学科

高橋 寿奈 先生



人や高齢者が大好きで、看護師として長い間病院で勤務しておりましたが、現在は大学で老年看護学の教育に携わっております。

看護の研究では、人生100年時代といわれる中、高齢者の方が最期まで自分らしく過ごすためにできることは何か考えています。現在は、地域在住の健康な高齢者の方に人生会議を普及するにはどうすればよいか、人生会議を行うにあたり家族の方への支援は何が必要か、ということの研究しております。

奈良学園大学 保健医療学部 リハビリテーション学科

中島 大貴 先生



私は地域在住高齢者の健康増進（介護予防）や認知症高齢者の支援について研究や実践を行っています。大学での研究・教育に加えて、大学近隣の地域包括支援センターや奈良市生涯学習財団（公民館）の方とともに、高齢者を対象とした健康増進事業やオレンジカフェ（認知症カフェ）を実施しています。

地域の健康増進に関するご質問があればぜひご相談いただければと思います。

## 卒業生からのメッセージ



奈良学園大学  
保健医療学部  
看護学科2021年3月卒業  
安宅 沙希亜 さん

私は奈良学園大学を卒業後、奈良県総合医療センターのNICUで、早産や呼吸器疾患などにより、治療を必要とする新生児への看護を行っています。

大学では講義や実習を通して、妊娠・出産・育児といった「継続した支援」の重要性を学びました。就職して1年目。まだまだ未熟ですが、新生児の今の状態だけを見るのではなく、助産師として、母乳育児支援をはじめとする母子へのサポートにも目を向け、家族のスタートを見守り、退院後の生活を支援できるよう頑張りたいです。

卒業後も大学の先生方からサポートを受けられる環境にあり、それぞれの場所で頑張っている助産師課程の仲間たちとも交流を続けています。

キャンパス統合に向けて、3号館の建設も進んでおり、より設備の充実した施設が完成することを楽しみにしています。

## 在学生からのメッセージ



奈良学園大学  
人間教育学部  
人間教育学科  
伊藤 美香 さん

私の目標は小学校教員になることです。また、幼小連携継続にも興味があり、副免許として保育士資格・幼稚園教諭の取得を目指し勉強に取り組んでいます。

サークル活動では、幼小連携サークル部長、バスケットサークル、オープンキャンパススタッフを務めています。3C（チャンス・チャレンジ・チェンジ）を旨に、セブ島語学研修、海外の大学とのオンライン交流、学生支援ボランティア、大阪府との人権共同研究など様々なことに積極的に参加しています。関わってくださる周りの人に感謝を忘れず、目標に向かって成長し続けていきたいと思っています。

## 季節のコラム 「本学敷地内の標識」

本学の敷地にあるこの看板について、第2回登美ヶ丘カレッジにご参加いただいた方から「看板が新しくなりましたが何か変更がありましたか?どのような状況の時に避難所として使えますか?」とご質問を頂きました。本学は平成21年10月より、奈良市「災害等発生時の二次避難所」となっており、奈良市ホームページで、西北部【1】登美ヶ丘エリアの二次避難所としてご案内いただいております。[\(https://www.city.nara.lg.jp/site/hinanjo/\)](https://www.city.nara.lg.jp/site/hinanjo/) 当時は本学の前身である「奈良文化女子短期大学」という名称でしたので、昨年、新しいものに立て替えさせていただきました。

二次避難所とは、震度5弱以上の地震など、大規模災害が発生した場合に奈良市災害対策本部の決定により開設します。台風の接近時などにおいても、被害が拡大し一次避難所のみでは対応できない場合に、必要に応じて開設します。そんな大きな災害が起こらない事を願いますが、本学も地域防災に貢献できるよう努めてまいります。台風の季節です。ぜひ住居地域の避難所と経路を再確認してください。

(文/保健医療学部看護学科 堀内美由紀)

